



# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、1年延期され、そして大会史上初の原則無観客開催となりました。このような状況下で、選手の素晴らしい活躍により、オリンピックで26個、パラリンピックで157個の世界新記録が誕生し、全ての選手から、勇気と希望と感動をいただきました。

## 東京2020大会のメダル

東京2020大会でアスリートに授与された全てのメダルは、「都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト」を通じて、多くの人から提供された使用済み携帯電話などの小型家電から金属を集め、オリンピック・パラリンピックの金・銀・銅合わせて約5,000個全てのメダルを製造しました。



©Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

**大会名** 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)

**開催期間** 2021年7月23日(金・祝)～8月8日(日)

東京2020オリンピック競技大会は、33競技、17日間の熱い戦いが繰り広げられ、多くのメダリストや入賞者が誕生しました。

## オリンピックのシンボル

五輪マークは、五つの輪が重なっています。これは世界五大陸(南北アメリカ・ヨーロッパ・アジア・オセアニア)を表しています。全世界の人たちが平和の精神のもと、スポーツで手をつなぎ合おうという意味があります。また、青、黄、黒、緑、赤の色は地色の白を加えると、世界の国旗のほとんどを描くことができるという理由で選んだと、考案者であるクーベルタン男爵は書き残しています。



## オリンピックメダル獲得数

**金 27個 銀 14個 銅 17個 合計 58個**

渋谷区関連競技では、卓球やフェンシングでの初の金メダルなどを含む、金メダル2個、銀メダル2個、銅メダル3個、合計7個のメダルを獲得しました。  
(参考:リオ2016大会では、金メダル12個、銀メダル8個、銅メダル21個、合計41個)

過去最多

**大会名** 東京2020パラリンピック競技大会

**開催期間** 2021年8月24日(火)～9月5日(日)

東京2020パラリンピック競技大会は、22競技、13日間に及ぶ白熱した戦いが行われ、

リオ2016大会を大きく上回るメダリストが誕生しました。

同一都市で2度目の夏季パラリンピック開催は、東京が史上初です。

## パラリンピックのシンボル

1989年の国際パラリンピック委員会(IPC)設立後に制作され、リレハンメル1994大会から使用されました。そして、アテネ2004大会から現在のシンボルに変更されました。このシンボルマークは「スリーアギト」と呼ばれています。「アギト」とは、ラテン語で「私は動く」という意味で、困難なことがあってもあきらめずに、限界に挑戦し続けるパラリンピアンを表現しています。青・赤・緑の三色は、世界の国旗で最も多く使用されている色ということで選ばれました。



## パラリンピックメダル獲得数

**金 13個 銀 15個 銅 23個 合計 51個**

渋谷区関連競技では、ボッチャ初の金メダルや東京2020パラリンピックから公式競技となったバドミントン3個の金メダルなどを含む、金メダル7個、銀メダル5個、銅メダル14個、合計26個を獲得しました。  
(参考:リオ2016大会では、金メダル0個、銀メダル10個、銅メダル14個、合計24個)

## 渋谷区文化プログラム「MERRY SMILE SHIBUYA 2020」を実施しました

東京2020パラリンピック競技大会の期間中、渋谷区文化プログラム「MERRY SMILE SHIBUYA 2020」を実施し、ステージイベントのライブ配信や区役所15階で展示を行いました。ライブ配信は、盲目のヴァイオリニスト白井崇陽さんの演奏で始まり、ダウン症の書家・金澤翔子さんの書道、さまざまな障がいのある人によるファッションショーや東北・パリとつないで、演奏やトークを行いました。また、展示では、区内9大学による日本文化、渋谷文化を展示と動画で発信したり、これまでに子どもたちが紙皿などで作成した笑顔の応援メダルや金澤翔子さんの書を展示したりと、盛りだくさんの内容でした。年齢、性別、国籍、障がいの有無を問わず、だれもが楽しめる内容で、文化の祭典として東京2020大会を盛り上げました。

「MERRY SMILE SHIBUYA 2020」HPはこちら▶  
見逃し配信やダイジェスト動画などのコンテンツをご覧ください。



# 11月以降の実施事業

東京2020大会に向けて機運を醸成し、応援してきた競技を、渋谷区のレガシーとして継続して応援するとともに、さらにパラスポーツを推進していきます。令和3年度に実施を予定している事業について、紹介します。

## 3年度実施事業(予定)

### ●第4回渋谷区長杯車いすラグビー大会

11月28日(日) 迫力の試合をライブ配信でお届けします!

時間	出場チーム
第1試合 10:30～	AXE(埼玉)
第2試合 12:30～	BLITZ(東京)
決勝戦 15:00～	RIZE CHIBA(千葉) TOKYO SUNS(東京)

今回のライブ配信はマルチアングルカメラで好きな視点で観戦可能!

他画面(カメラビュー)を同時に視聴することができ、試合をさまざまな視点から観戦し、大画面(メインビュー)をご自身で選択することが可能な新しい視聴体験ができます。



マルチアングルカメラについて詳しくは、日本車いすラグビー連盟HPをご確認ください。



▲日本車いすラグビー連盟HP

### 選手への応援メッセージを大募集!!

試合中に、皆さんに送っていただいた応援メッセージをマルチアングルカメラに映します。渋谷区長杯大会に出場する選手に向けて、応援メッセージを届けよう!

▶募集内容 静止画(写真、イラスト)

手持ちのメッセージを用意するなど応援の様子を撮影してください。メッセージは見えるように大きく大きな文字で記載してください。スマートフォンやカメラなどは画面を横向きにして撮影してください。

▶締切 11月15日(月)

▶応募方法 日本車いすラグビー連盟へメールで

(✉jwrf.ouen@gmail.com)

※そのほか注意事項は区HPをご覧ください。

※応募いただいたメッセージを全て掲載できない場合がありますので、ご了承ください。



▲区HP

### ●SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA 2021 トークセッション

11月11日(木)19:00～20:00

「パラスポーツ×渋谷のレガシー」をテーマに、渋谷の未来を語ります(オンライン配信)。

#### ゲスト

池崎大輔選手  
(東京2020パラリンピック 車いすラグビー日本代表 銅メダリスト)  
大日方邦子氏  
(一社)日本パラリンピアンズ協会会長・渋谷区教育委員会委員  
三浦裕子氏  
(一社)日本ボッチャ協会事務局長  
渋谷区長 長谷部健

### ●SHIBUYA 東京2020オリンピック・パラリンピック報告会

東京2020大会に出場した区内開催競技の日本代表選手による報告会をYouTube(渋谷オリパラチャンネル)で配信します。配信は12月以降の予定です。



▲渋谷オリパラチャンネル

#### ゲスト

東江雄斗選手  
(東京2020オリンピック ハンドボール日本代表)  
竹内望選手  
(東京2020パラリンピック 卓球日本代表)  
今井友明選手  
(東京2020パラリンピック 車いすラグビー日本代表 銅メダリスト)

### ●パラスポーツ・ダイバーシティ講座

12月1日(水)19:00～20:00

▶場所 区役所14階大会室  
▶内容 車いすの補助など実技を通して障がい者サポートを学ぶ講座  
▶講師 (公財)日本ケアフィット共育機構 富樫正義氏  
▶定員 30人(抽選)  
▶申込 11月10日18:00までに申し込みフォームまたはファクス(☎03-5537-8416)で(6才-7)必要事項のほかメールアドレスを記入)㈱スポーツビズへ



▲申し込みフォーム

そのほか、障がい者スポーツ指導員初級講習会やボッチャサポーター講習会などの実施を予定しています。

## 【交通対策などのお礼】

東京2020大会期間中に実施した交通規制、工事時期および物流時間の分散など、ご不便とご迷惑をお掛けしました。ご協力いただいたき、ありがとうございました。

# 東京2020オリンピック・パラリンピックで活躍された選手からメッセージをいただきました

## 東京2020オリンピック競技大会



### ハンドボール

#### ・大会結果

男子ハンドボール男子日本代表は、予選リーグでポルトガルに31対30で勝利し、1988年のソウルオリンピック以来、33年ぶりにオリンピックでの勝利となりました。

女子ハンドボール女子日本代表は、予選リーグでモンテネグロに29対26で勝利し、1976年のモントリオールオリンピック以来、45年ぶりにオリンピックでの勝利となりました。

#### MESSAGE

女子ハンドボール日本代表の角南唯です。東京オリンピックでは予選リーグでモンテネグロに勝利することができましたが決勝トーナメントへ進むことができませんでした。新型コロナウイルス感染拡大の中での大会となりましたが、たくさんの方々のサポートがあり、私たちは思い切ってプレーすることができました。国民の皆さん、そして渋谷区民の皆さん、まだまだ厳しい状況が続きますが、スポーツの力で元気を与えられるよう頑張りますので、今後とも応援よろしくお願いします。



角南唯選手

©JHA/Yukihito TAGUCHI



### 卓球

#### ・大会結果

東京2020オリンピックからの新種目である混合ダブルスで、日本の水谷選手と伊藤選手が金メダルを獲得しました。日本がオリンピックの卓球で金メダルを獲得したのは初めてです。



©Tokyo2020/Meg Oliphant



### 陸上競技

#### ・大会結果

競歩で池田選手が銀メダル、山西選手が銅メダルを獲得したほか、多くの入賞者が誕生しました。女子1,500mでは田中選手が日本人で初めて出場し、見事8位入賞となり、自身の持つ日本記録を更新しました。また、男子3,000m障害では三浦選手が7位となり、日本人初の入賞を果たしました。



©Tokyo2020/Meg Oliphant



### フェンシング

#### ・大会結果

フェンシング男子エペ団体では、日本(宇山選手、山田選手、加納選手、見延選手)がフェンシングで史上初の金メダルを獲得しました。フルールでは北京2008大会男子やロンドン2012大会で銀メダルを獲得していましたが、エペでは日本初のメダルが金メダルとなりました。

#### MESSAGE

渋谷区民の皆さん、こんにちは。フェンシング男子エペ日本代表の宇山賢です。東京2020オリンピック競技大会は初めてのオリンピックで、1番いいメダルを持ち帰ることができてうれしいです。これからも、渋谷区と協力しながらフェンシング普及に努めていき、価値を高めていきたいと思っています。



宇山賢選手

#### MESSAGE

渋谷区民の皆さん、こんにちは。フェンシング男子エペ日本代表の見延和靖です。今回の東京オリンピックでは、日本フェンシング界初となる金メダルを獲得することができました。この金メダルは、僕1人の力では絶対に獲得することができなかったと思います。チームが一丸となり、そこを支えてくれるコーチ、スタッフ、そして、応援してくださった皆さんの力が重なり、それがこの金メダルを導いてくれたと思っています。今回のこのオリンピックを経験し、我々がするスポーツというものは、社会の皆さんの努力の上に成り立つものだと感じました。この感謝の気持ちを私たちは絶対に忘れてはならないと強く思いました。渋谷区の皆さんには、いつもいつも温かい応援をしていただき、ありがとうございます。3年後のパリ大会でも必ずこの金メダルをお見せできるように、今日からまた努力していきたいと思っています。皆さんと一緒に戦い、一緒に金メダルを勝ち取るような、そんな気持ちで戦っていきたく思いますので、皆さん、これからも温かい応援、どうぞよろしくお願いします。



見延和靖選手

## 東京2020パラリンピック競技大会



### バドミントン

#### ・大会結果

東京2020パラリンピックから正式競技となったパラバドミントンは、女子シングルス(WH1)の里見選手、男子シングルス(WH2)の梶原選手、女子ダブルス(WH1-WH2)の里見選手・山崎選手が初代チャンピオンに輝くほか、多くのメダリストが誕生しました。

#### MESSAGE

パラバドミントン日本代表の梶原大暉です。東京2020大会ではシングルスで金メダル、ダブルスで銅メダルを獲得することができました。会場が渋谷区ということで、渋谷区の皆さんにたくさん応援をしていただきました。会場には渋谷区の小学生が来ていて、決勝で戦っているときも、子どもたちの姿や応援の一つ一つが自分の力となり、良い結果につながったと思っています。たくさんの応援とご支援ありがとうございました。



梶原大暉選手

#### MESSAGE

パラバドミントン日本代表の村山浩です。東京2020大会ではシングルスでは4位、ダブルスでは惜しくも3位という結果でした。車いすで体育館を利用できない中、渋谷区にはスポーツセンターを2年貸していただき、仕事終わりにみんなで練習をしたことがすごく懐かしく思います。国立代々木競技場はバドミントンの全日本選手権大会の会場であり、自身が車いすを利用する前から観戦していた思い入れのある場所でした。まさか自分が車いすになって、ましてやパラリンピックに出場し、メダルが取れるとは想像をしていなかったのが感慨深いです。これも渋谷区の皆さんのご支援とご声援のおかげと思っていますので、末永くよろしくお願いします。



村山浩選手

#### MESSAGE

パラバドミントン日本代表の藤原大輔です。東京2020大会では銅メダルをミックスダブルスで獲得し、シングルスは準決勝で負けてしまい4位でした。2017年から渋谷区の小中学校をいくつか行かせていただいて、多くの小中学生に会ってすごく元気をもらったのが思い出に残っています。本番でも小学生が国立代々木競技場に来ていて、声は出せない中、拍手していただいたことで、苦しい場面でも頑張れたと感じています。2019年のテストイベントなども含めて、渋谷区の協力があって今回メダルが取れたと思っています。パリ2024大会を目指して頑張っていきたいと思っています。引き続き応援よろしくお願いします。



藤原大輔選手



### 車いすラグビー

#### ・大会結果

リオ2016大会に続いて、銅メダルを獲得しました。東京2020パラリンピックでは、初めて日本代表に選出された女性選手、倉橋選手の活躍が目立ちました。

#### MESSAGE

車いすラグビー日本代表の今井友明です。今回、皆さんの応援のおかげで銅メダルを獲得することができました。応援ありがとうございました。私たちは金メダルを目標としていましたが、そこには残念ながら届きませんでした。今後のパリに向けて、金メダルを目指して頑張りますので、これからも応援よろしくお願いします。



今井友明選手

#### MESSAGE

車いすラグビー日本代表の池崎大輔です。今回は皆さんの応援ありがとうございました。皆さんの応援のおかげで、銅メダルを獲得することができました。でも自分たちの目指していたものには手が届かず、すごく悔しい思いをしています。この悔しさを次の3年後のパリ大会に向けて、しっかり自分自身を見つめなおしながら、チームが成長できるように頑張っていきたいと思っていますので、これからも応援の程、よろしくお願いします。



池崎大輔選手



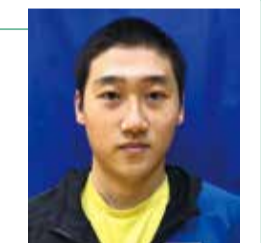
### 卓球

#### ・大会結果

パラ卓球は、クラス11の伊藤選手が銅メダルを獲得しました。メダル獲得はシドニー2000パラリンピック以来5大会ぶりになります。また、クラス9の岩淵選手は、開閉会式ともに日本選手団の旗手を務めました。

#### MESSAGE

東京2020パラリンピック卓球クラス11日本代表選手浅野俊です。今回の東京パラリンピックではベスト8で負けました。ものすごく悔しい試合で一本がものすごく近いうで遠く感じました。3年後のパリパラリンピックに向けて、また挑戦して頑張っていきたいと思っています。金メダルを取れるように頑張ります。渋谷区の皆さん応援ありがとうございます。これからも応援よろしくお願いします。



浅野俊選手

#### MESSAGE

東京2020パラリンピック競技大会、卓球日本代表の岩淵幸洋です。今回の大会は、目標としていたところには届かず、大変悔しい結果となってしまいました。改めてパラリンピックで勝つことの難しさを痛感いたしました。この悔しさはパラリンピックの舞台でしか晴らせないと思いますので、今後も自分にできることを頑張っていきたいと思っています。今回の大会は渋谷区の東京体育館で競技をさせていただきましたが、以前からさまざまなイベントや試合を渋谷区の皆さんに企画していただき、多くの皆さんに注目していただきながら試合をすることができました。渋谷区の皆さんには本当に感謝をしたいと思います。本当にありがとうございます。今後も引き続きパラスポーツに興味をもってもらえるとうれしいです。



岩淵幸洋選手



### 陸上競技

#### ・大会結果

リオ2016大会を大きく上回り、多くのメダリストや入賞者が誕生しました。また、新種目のユニバーサルリレーでも銅メダルを獲得しました。

#### MESSAGE

皆さんこんにちは。陸上競技日本代表、走り高跳びの鈴木徹です。今大会は、1m88cmで4位という結果で終わりました。残念ながらメダルを獲得することはできませんでしたが、雨の中でシーズンベストを超えることができて、本当に良かったです。今大会は残念ながら無観客ではありませんでしたが、渋谷区の児童の皆さんに実際に会場に足を運んでいただきました。僕の手拍子と一緒に児童の皆さんも手拍子をしてきて、本当に力をもらいました。また、皆さんの応援の中で跳ぶことができて、本当に気持ちよかったです。ありがとうございました。今大会を通して、皆さんに伝えたかったことは、世界中にはいろいろな障がいのある人がいることを知ってもらうことです。パラリンピックが終わった後が共生社会の実現に向けての本当の勝負所だと思います。渋谷区の皆さんにはいろいろな障がいがあることを知ってほしいと思いますし、私自身も障がいがあるということを知ってほしいと思っています。



鈴木徹選手



### ボッチャ

#### ・大会結果

混合チーム(BC1/BC2)では銅メダル、混合ペア(BC3)では銀メダルを獲得したほか、混合個人(BC2)では杉村選手が日本初の金メダル獲得を果たしました。

#### MESSAGE

渋谷区の皆さん、ボッチャ日本代表の廣瀬隆喜です。大会期間中はSNSテレビをとおして温かい声援、本当にありがとうございます。火の玉JAPANは、金メダル、銀メダル、銅メダルのみならず、出場選手全員が入賞することができました。皆さんの応援が火の玉JAPAN全員の力となりました。渋谷区の皆さんと一緒にボッチャができる日を本当に楽しみにしています。これからも火の玉JAPANの応援をぜひよろしくお願いします。



廣瀬隆喜選手

©Tokyo2020/Kenta Harada